

## 2024 年度中国支部集会開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会  
後援：岡山大学大学院社会文化科学研究科・岡山県・岡山市  
開催日：2024 年 10 月 26 日（土）10:00-16:50  
会場：岡山大学 津島キャンパス  
参加人数：68 名（会員 29 名、一般 39 名）

今年度の中国支部の支部集会は、岡山大学で、対面で開催されました。

今回の支部集会では、午前中にポスター発表 2 件、交流ひろば 6 件、午後に口頭発表 1 件と、地域企画としてパネルセッションが行われました。

午前のポスター発表では、日本語のテストと CEFR/日本語教育参照枠との関係、そして、オンラインによるボランティア日本語教室でのインターアクションをテーマに発表が行われました。また、交流ひろばでは、地域日本語教室での実践や、多読、ヒューマンライブラリーなど、多彩なテーマでの出展があり、和やかな雰囲気の中、活発なディスカッションが行われました。

午後は、開催校からのご挨拶をいただいた後、書く能力の向上支援に関する口頭発表、その後、「岡山市における地域日本語教育のさまざまな取り組み ―外国人市民とともに創る活力ある地域づくりを目指して―」をテーマにパネルセッションが行われました。



パネルセッションでの登壇者の発表・参加者とのディスカッションの様子

パネルセッション前半では、岡山市における地域日本語教室立ち上げ事例の紹介や、外国とつながりがある親子の支援、外国人市民が中心となった日本語学習や文化体験・地域交流など、具体的な実践事例が紹介されました。後半はディスカッションが行われ、日本語教室の担い手の募集方法、自治体や様々な機関との協働の在り方、今後の展望など、多くの質問、コメントが寄せられました。それぞれに悩みや葛藤を抱えながらも情熱を持って取り組んできた登壇者の皆さんの実践を通し、今後の地域日本語教育の在り方を考える充実した時間となりました。

支部集会終了後の参加者アンケートでは、「熱気があり、参加者同士が近い集会でした」「質疑応答やディスカッションが活発に行われており、とても有意義な時間になりました」「受付や会場サポートの学生さんが親切で丁寧でした」といった声が聞かれ、全般的に満足いただけたようでした。

今回の支部集会には、中国地方からだけでなく、遠方からも多くご参加いただきました。関係者の皆様方にも多大なるご協力をいただきました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

（報告者：中国支部活動委員：中東靖恵・犬飼康弘）